

大学共同利用機関法人自然科学研究機構
生理学研究所発達生理学系認知行動発達機構研究部門
特任助教公募

大学共同利用機関法人自然科学研究機構生理学研究所では、下記の要領で特任助教を公募します。

については、適任者の推薦、希望者への周知についてよろしく申し上げます。

記

- 1 職種及び人数：特任助教 数名（ただし、業績、年齢、キャリアを考慮して、博士研究員として雇用する可能性もあります。）
所 属：発達生理学系 認知行動発達機構研究部門（伊佐 正教授）
- 2 研究分野：以下の研究を推進する研究者
 - (1) 2光子レーザー顕微鏡やパッチクランプ法などの電気生理学的記録法を用いてげっ歯類や霊長類の中枢神経系の局所神経回路の動的機構を解明する研究
 - (2) 霊長類の眼球運動系を指標として、行動解析、電気生理学的記録法、機能的MRI法などを組み合わせて注意や視覚的意識の中枢神経機構の解明を目指す研究
 - (3) 霊長類の脳においてウィルスベクター等を用いて遺伝子発現を操作し、optogeneticsや神経経路選択的遺伝子発現調節法などを用いて高次脳機能の解明を目指す研究
- 3 応募資格：博士の学位を有するか、それに相当する研究業績を有する者。
- 4 雇用期間：以下のとおり
 - ・ 研究分野の(1)については年度毎の更新で、最長5年間
 - ・ 研究分野の(2)については年度毎の更新で、最長平成27年3月まで
(科学研究費補助金基盤研究(S)「無意識の視覚-運動系」によるサリエンシー検出機構の全貌」に関する研究です。)
 - ・ 研究分野の(3)については年度毎の更新で、最長平成25年3月まで
(文部科学省脳科学研究戦略推進プログラム課題C「独創性の高いモデル動物の開発」に関する研究です。)
- 5 提出書類：
 - (1) 履歴書
 - (2) 論文リスト（全著者名、論文題目、雑誌名、巻数ページ（始めと終わりのページ）、

発行年を記入すること。審査のある原著論文と総説・著書などは分けて記入すること、印刷中論文は含むが投稿済論文及び準備中論文は含めない。

- (3) 研究概要（これまでにやってきた研究の要約。1,000-2,000字程度）
- (4) 主要論文5編以内の別刷2部（コピー可）
- (5) 推薦書（1通以上）、照会先（1件以上）

*原則として、提出書類の返却はしません。

6 公募締切：平成23年1月31日（月）必着

7 赴任時期：遅くとも平成23年4月1日以前の赴任を希望します。

8 その他：生理学研究所は、男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画に取り組んでいます。

9 送付先及び問い合わせ先：

(1) 送付先

〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38番地
大学共同利用機関法人自然科学研究機構
岡崎統合事務センター総務部総務課人事係

（「認知行動発達機構研究部門」特任助教公募書類在中」と朱書きして、簡易書留で送付すること。また、上記項目2の(1)、(2)、(3)の研究分野のいずれに応募されるかを明記してください。なお、選考過程で、応募された研究課題以外の枠での着任が可能かをお伺いする場合がありますので予めご了承ください。）

(2) 問い合わせ先：

大学共同利用機関法人自然科学研究機構
岡崎統合事務センター 総務部総務課 人事係
電話：0564-55-7113(給与等処遇に関することを含む)

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

生理学研究所 教授 伊佐 正

電話：0564-55-7761, e-mail：tisa@nips.ac.jp

生理学研究所ホームページ：<http://www.nips.ac.jp/contents/recruit/>

認知行動発達機構研究部門ホームページ：<http://www.nips.ac.jp/hbfp/>